



# ネイチャーセンターだより

2019年5月号

## 新・いきもの図鑑



## センダイムシクイ (ムシクイ科)

ゴールデンウィークは、はんにょくとうなん  
5月のGW時期に、繁殖のために東南アジア方面から渡ってきます。ウグイスに近いなかまです。鳴き声の「チョヨービー」が、「焼酎一杯グイー」といっているように聞こえるといわれています。スズメより小さく、全長は12.5cmですが、力いっぱい鳴く声が、初夏にかけて東梅自然学習林内に響きわたります。漢字では、「千代虫喰」と表し、はじめは「ちよむしい」と呼ばれていたのが、いつの頃からか「せんだいむしい」と読まれるようになったそうです。名まえのとおり、昆虫類を樹上で食べます。姿が地味なので、探すのには一苦労です。

【参考文献】大橋弘一 .2003. 鳥の名前  
中村登流 .1995. 原色日本野鳥生態図鑑 (陸鳥編)  
高野伸二 .2015. フィールドガイド日本の野鳥

## GW 期間中 おすすめ

日に日に日差しがぐんと強くなるこの季節は、気持ちも明るくなりますね。  
東梅自然学習林内は、植物が次つぎと開花し、夏鳥がどんどん渡ってきて、見どころがもりだくさんです。  
大型連休中に、東梅自然学習林で「こたりのこみちお散歩ラリー」を開催します。  
どなたでもご参加できますので、春を探しにお気軽にお越しください。長ぐつは忘れずに！

当日受付：10時～16時 参加費：無料 対象・定員：なし

持ち物：長ぐつ・デジタルカメラや携帯電話などのカメラ

「こたりのこみち」コース約800mのあいだで、クイズに5問・課題に5問チャレンジ！

全問正解された方には記念品を、課題をクリアできたかたには、さらにちょこっとプレゼントがあります！

## トピックス



出会える (とおもう)  
いきものたち

# 見どころMAP



タンチョウのヒナが無事に育てば、親子で採食している姿が見られるかもしれません。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 5月の見どころ予報

### 凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	繁殖個体(少数)は、抱卵に入る。干潮時に、干潟で漁師さんが貝採りをするかたわらに下りていることがある。
タンチョウ	○	春国岱周辺で、毎年繁殖するつがいがある。個体を識別するためのリングを脚に装着されているタンチョウもいる。
ミヤコドリ	+	今シーズンは4月14日に初認、39羽が飛来した。その後は少しずつ増え、現在は4月21日の70羽が最大。(4月23日現在)GWが過ぎると、ほとんどの個体は繁殖地に移動するが、少数が越夏する年もある。干潮時間の前後3時間頃に春国岱湾の浅瀬に現れ、二枚貝やゴカイなどを食べる。
オオジシギ	+	早朝や夜に、ネイチャーセンター駐車場付近の草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャークゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する。(4月21日初認)
アオサギ	○	今シーズンは4月13日に初確認した。これから少しずつ数が増え、7.8月の夏季には、最大で200羽前後の群が春国岱湾に現れ、干潮時に魚を捕らえる姿が見られる。
夏鳥(おもに草原)	○	ヒバリ・ハクセキレイ・ベニマシコ・ノビタキ・オオジュリンが、繁殖のために春国岱周辺に渡ってきたのを確認した。(4月21日現在)
夏鳥(おもに森林)	○	コムクドリ・アオジが繁殖のために東梅自然学習林内に渡ってきたのを確認した。(4月21日現在)今後ウグイス・センダイムシクイ・エゾムシクイなどが飛来し、にぎやかになる。
留鳥		カラ類(ハシブトガラ・シジウカラ・ヒガラ)・エナガ・ゴジュウカラ・キバシリ・キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が繁殖シーズンに入る。
開花		東梅自然学習林内:ミズバショウ・ザゼンソウ・アオイスミレ・キバナノアマナ・エゾエンゴサク・ミヤマスマミレ・エゾネコノメソウ・ヒメイチゲなどが、次々に開花。 春国岱:(林内)ミズバショウ・アオイスミレ・ミヤマスマミレ・(草原)ハマハタザオが開花。

## 足環付タンチョウ「34V」



# NEWS

4月5日、ネイチャーセンターの観察窓から見える根室湾ぞいの前浜に、右足に金属製の足環がつけられたタンチョウの成鳥1羽が飛来しました。黄色の地に大きく数字や記号が記されているプラスチック製の色足環と違い、双眼鏡や望遠鏡では番号が読み取れなかったのですが、デジタルカメラで撮影して画像を拡大して確認したところ、かろうじて「1034」という数字が刻印されているのがわかりました。タンチョウ保護研究グループからいただいた資料によると、この個体は温根沼でヒナの時に足環がつけられたオスの個体で、生まれた年は1998年。ということは、今年なんと21歳になる、かなり長寿の個体です。もともとは「150-1034」という番号の金属足環と「34V」と刻まれた色足環をつけられたのですが、その後、色足環がはずれてしまい、金属足環だけになっています。そして昨年は温根沼でヒナを育て、ヒナにも「330」という色足環がつけられたとのことですが、4月5日に見つけたときは1羽でした。

後日、釧路市動物園の吉野智生さんに教えていただいた話では、「34V」はこの冬、つがい相手と死に別れているようなのです。今年は独身で過すのかと気をもんでいましたが、4月20日になって同じ前浜で、別の足環をつけていない1羽と一緒にいるところ姿を見つけました。この足環のない1羽は風切羽の先や翼の肩の部分の羽の先に小さな黒い斑点が残っており、2～3歳の若い鳥のようです。メスかどうかはわかりません。求愛の様子は見られませんでした。特に争うわけでもなく、1時間ほど一緒に過していました。はたして、「34V」に新しい恋が始まっているのでしょうか。お相手は若すぎないのか。新しくつがいとなって、温根沼のなわばりに戻れるのか。足環の番号が簡単には読み取れないのですが、わかればいろんなことを教えてください。これからも注目して観察したいと思います。



## 春国産クイズ

5月後半から6月、7月上旬には夕方、林の上を飛ぶヤマシギの姿を見かけるようになります。昨年は、東梅駐車場の上空を「チキッ」とつぶやきながらふわふわと飛んでゆく姿がよく見られました。

ヤマシギのことをアイヌ語では「トゥレ<sup>ほ</sup> タチリ」（トゥレ<sup>ほ</sup>を掘る鳥）と言いますが、この「トゥレ<sup>ほ</sup>」とは、次のうちどの種類の植物のことでしょうか？



①ギョウジャニンニク



②ミズバショウ



③オオウバユリ



# 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！



事前にお申込みが必要な場合は、お電話またはメール、直接ご来館ください。

お申込みの際は、参加者全員のお名前、連絡先、小中高生は学年をお知らせください。

## 春国岱バードウォッチング

5月26日(日) 7:00-10:00

※雨天延期 6/2(日)

鳥たちのさえずりが最もにぎやかな季節に、春国岱の木道「ふるさとのみち」を約3km歩いて、水辺や森の野鳥を観察します

対象：バードウォッチングに興味のある小学生～おとな（初心者歓迎）

定員：20名（先着順）参加費：100円（保険代）お申込み：～5/24（金）

持ち物：筆記用具・お持ちのかたは双眼鏡（貸出あり）

5/7～16はネイチャーセンター休館日のため、電話対応できません。休館日にメールをいただいた場合は、返信は次の開館日となります。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。（ほか毎週水曜休館）

## 春国岱・浜辺のハイキング

6月30日(日) 9:30-14:00

※雨天延期 7/7(日)

春国岱の浜辺を歩いて、海岸の草花や野鳥を観察します。往復で約6km歩きます。

詳細は後日「ネイチャーセンターだより」やフェイスブックなどでお知らせします



募集中!

## ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（保険料）：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ 答 ③ オオウバユリ 根の部分にあるイモのようなかたまり（鱗茎）はデンプン質を多く含んでおり、アイヌの人たちは7月ごろ、これを掘り取ってデンプンや繊維をとり、保存食としていました。ヤマシギは長くちばしを土につきさしてミズなどを取りますので、そのしぐさを、オオウバユリを掘るのに見立てたと思われています。

参考文献 更科源蔵・更科光、1977. コタン生物記Ⅲ. 法政大学出版局.

帯広百年記念館、2018. アイヌ語で自然かんさつ図鑑. 帯広百年記念館友の会.



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地（開館9時～17時）

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

ゴールデンウィーク期間中は毎日開館

◆休館日：5月7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・22・29日

6月5・12・19・26日

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録